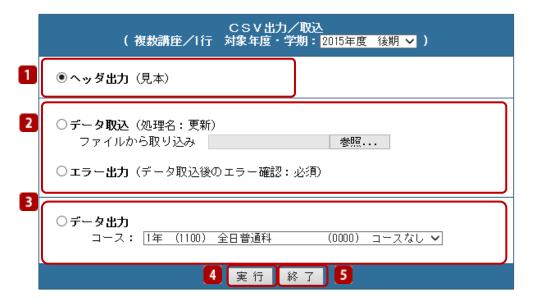
生徒別群講座名簿CSV登録

✓ こんなことができます

● 群講座を履修する生徒個人データをCSV形式ファイルで作成し、システムへの取込みができます。

■ 画面



■ 操作手順

	処理	操作順
(1)	見本出力	① ヘッダ出力 → ④実行
(2)	データ取込	② データ取込 参照ファイル名指定 → ④実行 → ②エラー出力 → ④実行
(3)	データ出力	③データ出力 → ③講座別/個人別の条件設定 → ④実行

■ 詳細説明

- I. 生徒別群講座名簿をCSVファイルから登録します。
 - ヘッダ出力(見本)を選択します。

下記の見本データを出力する場合に選択します。実行ボタン選択で処理を開始します。 保存について詳しくは⇒Ⅲ. CSV ファイルを保存します。 で説明します。



POINT

- ❖ ヘッダ部分は、生徒個人データ(列A~J)部分と群講座コード名称(列 K~U)部分で構成されています。
- * 群講座コード名称は、学年により内容や数が異なります。 生徒個人データ (列A~J部分)の項目 ※は必須入力です。 年度 ※学期 学年 組 出席番号 ※学籍番号 氏名 課程学科コース コース名 ※指定開始日
- ❖ サンプルデータのように一人の生徒の情報を1行にまとめて作成します。 生徒が履修する群講座のセルに"1"を入力しCSVファイルを作成してください。
- ❖ 生徒全員分の入力が終了したら、最後にサンプルデータ行(アルプ太郎のデータ)は削除してください。
- ❖ 群講座コード名称(列 K~U)には履修講座のみに"1"をセットします。

データ取込を選択します。

取込みデータが存在する場合は上書きし、存在しない場合は追加して更新します。 取込む CSV 形式ファイルの名称を参照ボタン検索し指定してください。 エラー出力とは、データ取込が正常に行われたかの確認ですので、取込み後に必ずこの処理 を実行してください。

3 出力するデータを指定します。

出力するコースをプルダウンから選んで指定してください。 処理開始メッセージが表示された後、CSVファイルの保存方法を選ぶ画面を表示します。 保存について詳しくは**⇒Ⅲ. CSV ファイルを保存します。**で説明します。

4 処理を実行します。

実行ボタン・・11、2、3 で設定した処理を実行します。 1 行目に項目名を出力する場合は、ヘッダ有をチェックしてください。

CSVファイル保存の方法を選ぶ画面を表示します。

保存について詳しくは⇒Ⅲ. CSV ファイルを保存します。で説明します。

5 処理を終了します。

終了ボタン・・・印刷を終了し前画面へ戻ります。

II. CSVファイルを保存します。

CSVファイルの保存の方法を選ぶ任意の操作をお願いします。



■ 開く を選択した時

ダウンロードしたデータを表示します。データは保存はしていません。

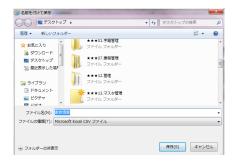
保存 を選択した時

以下のメッセージが画面下に表示しますので、引き続き任意の操作をお願いします。



名前を付けて保存(A) を選択した時

下記の保存フォルダー、ファイル名等の入力画面を表示しますので、引き続きの操作をお願いします。



4 キャンセル を選択した時

全部の操作を取り消しますので、ご注意ください。